

主要産地における平成26年産水稻の生育状況等について 第3報 (6月13日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成26年6月17日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は活着も順調で、平年並に推移しており、移植は平年並に終了 (空知) 移植作業は順調に進み、活着は良好 (石狩) 移植後に低温・強風の影響を受けたほ場が一部あるが、生育は順調 (後志) 移植はほぼ終了し、活着は並 (胆振) 好天により、生育はやや早い (日高) 移植作業は平年並に終了し、生育は平年並に推移 (渡島) 苗の生育は平年並 (樺山) 生育は平年並 (十勝) 移植作業は平年並で終了、生育は平年よりやや早く推移 (留萌) 5月中旬の低温により活着にやや日数を要したが、天候の回復により生育は平年並みに回復 (オホーツク) 移植作業は平年並みに進み、生育も平年並 (北海道 6月1日現在)</p>	<p>・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量はやや少、 フタオビヨウガの発生量は平年並の予報 (北海道農業防除所 5月30日公表)</p>
青森	田植	<p>・6月5日現在の田植え進捗状況は県全体で100%、田植終わりは5月26日で、平年より2日早かった。 (青森県 6月6日付)</p>	<p>・6月のイネミスゾウムシの発生量はやや少ない、イネドロオウムシの発生量は平年並の 予報 (青森県病害虫防除所 5月30日公表)</p>
岩手	(生育)	<p>・6月5日現在の生育は、県南(北上・農業研究センター)、県北(軽米・県北農業研究所)ともに平年並み以上、 農業研究センター(北上)の活着は平年並み、県北農業研究所(軽米)の活着は良好であり、活着後の初期生育は良好 (岩手県農業研究センター 6月9日付)</p>	<p>・5月のばか苗病の発生量は少、細菌性苗立枯病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量はやや多、苗いもち病の発生量は平年並、イネミスゾウムシの発生量はやや少、イネドロオウムシの発生量は少の予報 (岩手県病害虫防除所 4月30日公表) ・アカスジカスミカメ越冬世代幼虫の孵化盛期は平年より早まる予想 (岩手県病害虫防除所 5月16日付)</p>
宮城	(生育)	<p>水稻の生育は概ね良好であり、平年に比べて2～3日程度進んでいる (宮城県 6月11日付) 大崎 苗の活着は良好 (本郷農業改良普及センター 6月2日付) 美里 田植えはほぼ終了し、生育は概ね順調 (美里農業改良普及センター 6月4日付) 登米 6月2日現在の生育は順調、平年に比べて3～4日程度進んでいる (登米農業改良普及センター 6月4日付) 石巻 田植え後の活着は概ね良好 (石巻農業改良普及センター 6月4日付) 本吉 生育はほ場によりばらつきあり、気仙沼ひとめぼれの生育は平年より1～2日進んでいるもの、南三陸ササニシキは2～3日の遅れ (本吉農業改良普及センター 6月4日付)</p>	<p>・粟いもちの発生量は平年並、イネドロオウムシも平年並の予報 (宮城県病害虫防除所 6月9日公表) ・イネミスゾウムシの発生量はやや多 (宮城県病害虫防除所 5月26日公表)</p>
秋田	(生育)	<p>(鹿 角) 普通移植栽培のあきたこまちの生育状況は、好天高温により生育は順調、直播栽培 (淡雪こまち) も生育は順調 (6月13日付) (北秋田) 6月10日現在の調査ほ場の生育 (品種: あきたこまち) は、平年に比べてやや早く進んでいる。 (6月12日付) (山 本) 6月10日現在の生育は平年より2日程度早い (6月13日付) (秋 田) 6月10日に行った調査の結果では、「あきたこまち」で平年より3日程度早い生育となっている。 (6月12日付) (由 利) 田植えはほぼ終了し、活着は良好で順調に生育している。 (6月8日付) (仙 北) 6月10日現在の水稻の生育は平年に比べ進んでいる (6月13日付) (平 鹿) 6月10日に行った調査の結果では、平年よりやや生育が進んでいる。 (6月13日付) (雄 勝) 草丈平年比103%、葉数平年比110%、葉数年差+0.3となっている。 (6月12日付) (秋田県森林政策課)</p>	<p>・イネヒメハモグリバエの圃場産卵数は多く要注意 (秋田県病害虫防除所 5月21日公表)</p>
山形	(生育)	<p>6月10日現在の生育は良好、平年に比べて葉数、葉数が多く、生育は2日から3日程度進んでいる。 平田郡「ほえぬき」の生育は、草丈は平年並みで、葉数・葉数は多く、葉色はやや濃い旺盛な生育となっている。 「つや輝」の生育は、着生な時期に移植され、その後の好天に恵まれたこと等により、初期生育量が十分に確保され、旺盛な生育となっている。 (山形の米日本一推進運動協議本部 6月10日付) (庄 内) 6月10日現在、草丈は平年並、葉数が平年比150%となり、葉色は平年より濃くなっている。 平田郡ではすでに7葉目が展開中で、平年よりも生育が6日程度進んでいる (山形県区内総合支庁 6月11日付)</p>	<p>・6月の粟いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予報 (山形県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
福島	(生育)	<p>田植え作業は平年に比べ1日遅れたが活着は概ね良好で、本田での初期生育は分けつが発生、草丈の伸長、主穂出葉ともに平年並から良好。直播栽培も出芽と苗立ちは良好 (福島県農林水産部 6月9日付)</p>	<p>・6月のイネドロオウムシの成虫の水田侵入盛期は平年より早く、幼虫発生時期もやや 早めの予報 (福島県病害虫防除所 6月9日公表)</p>
茨城	(生育)	<p>(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は平年より2日程度進み、「コシヒカリ」は平年より1日程度進んでいる。 5月9日に移植した「コシヒカリ」の生育は平年より2日程度進んでいる。 (6月3日付) (龍ヶ崎市) 4月28日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は1～2日程度早い。 5月7日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は平年並。 (5月30日付) (県農業総合センター-農業研究所)</p>	<p>・6月のニカメイガの発生量はやや多い予報 (茨城県病害虫防除所 6月2日公表) ・本田でのイネミスゾウムシの生息数のピークは県南・県西地域では5月中旬～下旬、 県北・県東・鹿行地域では5月下旬～6月上旬と予測 (茨城県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
栃木	(生育)	<p>移植後、特に5月中旬の気温は県全域で2℃程度高く、日照時間も平年比150%前後と長くなり、水湿・地温が上昇して順調に活着し、 分けつの発生が促進され、平年より下位分けつの発生率は大きくなった。葉数が平年より多く確保できている。また、葉齢から判断 すると、生育は平年より1～2日程度進んでいると推定される。 (栃木県農政課 5月29日付)</p>	<p>・イネ細菌性枯病 (ヒメトビウカ) の発生量は多い予報 (栃木県農業環境指導センター 5月29日公表)</p>
埼玉	(生育)	<p>強風による植え込み等で分けつはやや少ないが、草丈は平年並、高温により葉位の進展は進んでいる。 5月上旬に移植されたものは強風による植え込みが見られるが、良気象により回復は早く、 概ね順調な生育である。 (埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 6月1日現在)</p>	<p>・6月のイネ細菌性枯病 (ヒメトビウカ) の多発が懸念される (埼玉県病害虫防除所 6月11日公表)</p>
千葉	(生育)	<p>移植時期から続く高温多照傾向のため、生育の進みが早く、葉数がかかり多くなっている。草丈はやや高く、 葉色は平年並からやや濃い傾向で、旺盛な生育。いずれの品種とも中干し開始目標葉数に達している。 (千葉県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>・6月のいもち病 (粟いもち)、紋枯病の発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量はやや多、イネクロカメムシの発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量は やや多、セジロウカカメの発生量は平年並、コバネイナゴの発生量は平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 6月11日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

生育状況等		
新潟	<p>(生育) ・コシヒカリ、こしいぶきの生育は、好天により葉数が急激に増加し、指標値（理想的な生育のめやす）に比べて多くなっている。 ・平野部を中心に、5月中旬の低温や強風により生育停滞が見られたが、5月第6半旬から6月上旬の好天により、急速に回復した。 5月下旬に田植えした中山間地ではほぼ順調に生育。 (コシヒカリ) 県平均では指標値に比べ、草丈は「やや長い」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」、葉数の進みは「やや早い」 (こしいぶき) 県平均では指標値に比べ、草丈「長い」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」、葉数の進みは「早い」 (新潟県農林水産部 6月11日付) (十日町) 全般的に生育は順調。分けつは近年並み。(十日町農業普及指導センター他 6月10日付) (刈払) 5月末以降の高温多湿により生育は急激に回復し、分けつは順調。(村上農業普及指導センター 6月10日現在) (新発田) 生育は4日程度遅く、葉数で比較すると生育量は「並～やや大」。(新発田農業改良普及センター 6月10日現在) (上越) コシヒカリの生育は7日程度遅く、(上越農業普及指導センター 6月10日付) (長岡) 5月第6半旬以降の高温多湿により葉数は急速に進み、生育は過剰傾向。(長岡農業普及指導センター 6月10日現在) (魚沼) 初期生育は順調、コシヒカリの草丈、葉数、葉齢は「平均並」(魚沼農業普及指導センター 5月29日現在) (柏崎) 気温が高くなり推移したため、葉数は順調に増加、中山間地コシヒカリも葉数増加は順調。こしいぶきは過剰生育傾向。 (柏崎農業普及指導センター 6月11日付)</p>	<p>- 6月の葉いもちの発生量は少ない予報 (新潟県病害虫防除所 5月30日公表) - 5月のイネミズゾウムシの発生量は平均並、イネドロオウムシの発生量は平均並の予報 (新潟県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
富山	<p>(生育) (てんたかく) 平年に比べて葉齢がかなり進んでおり、草丈はやや長く、葉数は多い (コシヒカリ) 草丈、葉数、葉齢、葉色とも概ね平均並み (てんこもり) 平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈と葉色は平均並み、葉数は多い (富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月3日付)</p>	<p>- 6月の葉いもち病(葉いもち)の発生量は平均並～やや少ない、紋枯病の発生量はやや多い、斑点米カメムシ類の発生量は多い予報 (富山県農林水産総合技術センター 6月2日公表) - 5月のイネミズゾウムシの発生量は平均並、イネドロオウムシの発生量は少、イネゾウムシの発生量は少の予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月1日公表)</p>
石川	<p>(生育) ・葉齢展開からみた生育の遅延は、コシヒカリで平年に比べて1～2日早く、ゆめみづほで近年に比べて3日早い ・葉数は、コシヒカリが加賀地域で平均並、能登地域でやや多く、ゆめみづほは加賀地域で多く、能登地域でやや多い ・草丈は、コシヒカリが平均11%と長く、ゆめみづほも近年比で平均11%と長い (農林総合研究センター 6月9日調査)</p>	<p>- 斑点米カメムシ類の雑草地における発生はやや多の予報 (石川県農林総合研究センター 5月29日付) - イネミズゾウムシによる被害が一部で散見される (石川県農林総合研究センター 6月20日付) - 5月のイネミズゾウムシの発生量は平均並、イネドロオウムシの発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量は平均並の予報 (石川県農林水産総合技術センター 4月24日公表)</p>
福井	<p>(生育) 水稲の生育は気温が上昇したことに伴い前年並みまで回復 ・コシヒカリは、草丈は平均よりやや短く葉数は平均より少ない、前年並みまで回復 ・ハナエチゼンの草丈と葉数は平均、前年より小さいが、回復傾向が続いている (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月6日付)</p>	<p>- 6月の葉いもち病の発生量は平均より少、紋枯病は平均並、ニカメイガは平均より多、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオウムシとイネヒメハモグリバエは平均より少の予報 (福井県農業試験場 5月29日公表)</p>
長野	<p>(生育) ・活着は順調 (松本農業改良普及センター 5月26日付) ・保温資材の除去がおくれたため高温で苗を焼いて煮たような状態となり、播き直しとなる報告が増えている (松本農業改良普及センター 4月24日付)</p>	<p>- 5月下旬のイネミズゾウムシの被害率及び発生虫数は近年より少なかった。 また、佐久地域の、一部でイネドロオウムシの成虫を確認 (長野県病害虫防除所 6月2日付) ・気温の上昇とともに葉類・茎葉部への発生が目立つ (松本農業改良普及センター 5月26日付)</p>
滋賀	<p>(生育) ・生育は概ね平均並であるが、5月下旬の高温多湿により旺盛となっているところもある ・草丈は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平均よりやや長く、葉数は「コシヒカリ」が平均並、「秋の詩」が平均よりやや多い ・葉数は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平均より0.3枚多い (滋賀県農業技術振興センター 6月5日付)</p>	<p>- 葉いもちの発生量はやや少、ニカメイガの発生量は平均並、イネドロオウムシ、イネクワカメムシの発生量はやや少、コバネイナゴの発生量は平均並の予報 (滋賀県病害虫防除所 6月3日公表)</p>
兵庫	<p>(育苗) (県北) 本田での生育は順調 (県南) 苗の生育は順調 (兵庫県農政環境部長 6月2日付)</p>	<p>6月は葉いもちが発生し、やすいと予想される。日播農地では稲穂葉枯病が多発傾向 (兵庫県 6月2日付)</p>
岡山		<p>- 6月の葉いもちの発生量はやや少、ヒメトドムシの発生量は少、稲葉枯病の発生量は平均並、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平均並の予報 (岡山県 6月5日公表)</p>
広島		
山口		<p>- 6月の稲葉枯病(ヒメトドムシ)の発生量は平均並の予報 (山口県病害虫防除所 6月2日公表) - 5月のイネミズゾウムシの発生量は平均並の予報 (山口県病害虫防除所 5月1日公表)</p>
愛媛	<p>(育苗) 早期水稲の育苗は3月から開始、普通期水稲の育苗は5月から開始 (愛媛県農林水産部 5月12日公表)</p>	<p>- 6月の葉いもち病(葉いもち)の発生量は平均並、ヒメトドムシの発生量はやや少～並の予報 (愛媛県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
高知	<p>(生育) (早期稲) 昨年のような植え込みもほとんど見られず、移植後の生育は初期には低温の影響が若干見られたものの概ね良好 (普通期稲) 昨年のような水不足による移植の遅れもなく移植後の生育は良好。一部地域では育苗中の葉いもちの発生による苗の供給遅れが生じている (高知県病害虫防除所 6月3日付)</p>	<p>(早期水稲) 葉いもち病の発生量は少～やや少、ツマグロヨコバイ、セジロウシ、ヒメトドムシの発生量は少の予報 (普通期水稲) 葉いもち病の発生量は少～やや少、イネミズゾウムシの発生量は少、ツマグロヨコバイ、セジロウシ、ヒメトドムシの発生量は少の予報 (高知県病害虫防除所 6月3日公表)</p>

生育状況等		
福岡	<p>朝倉普及指導センター管内（朝倉市、筑前町、東峰村）では5月1日～2日を中心に早期栽培夢つくしの田植えを終了 収穫は8月の盆明けの見込（福岡県朝倉普及指導センター 5月12日付）</p>	<p>5月15日現在、海外飛来性害虫（セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ）は見られていない（福岡県病害虫防除所 5月23日公表）</p>
熊本	<p>JAあまくさ管内では早期米の田植えが3月下旬からスタート、4月中旬がピークの見込 JA本渡五和管内では早期米の田植えが3月31日からスタート、4月上旬がピーク JAくま管内では早期米の田植えが4月上旬からスタート （JAグループ熊本ホームページ「管内JAニュース」）</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並みの予報 （熊本県病害虫防除所 5月30日公表）</p>
宮崎	<p>現在の生育状況は、草丈が平年より短く、茎数は平年並み、葉齢は平年並みで、生育進度は平年並み（6月3日付） 早期水稲5月29日現在の生育ステージ （県全体）活着期～分けつ前期で平年よりやや早 分けつ盛期～分けつ後期で平年並みの進度。草丈はやや低く、茎数は平年並みであり、順調に生育 （中部地区）活着期～分けつ前期で平年より3日早く、移植後の生育は概ね順調 分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。草丈は平年より5cm程短く、茎数・葉齢は平年並み （南那珂地区）分けつ前期で平年並、4月上旬の強風で葉痛みが見られたものの、好天により生育は回復基調 分けつ盛期～分けつ終期で平年より2日遅い進度。草丈は平年より3cm程低く、茎数はやや多い （児湯地区）活着期～分けつ前期で平年より1日遅いが、3月中旬頃に移植した苗は順調に分けつし始め 3月下旬に移植した苗では4月上旬の強風の影響で生育がやや遅く、葉先の黄化も見られる 分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。全体的に草丈が低い状態で、今後の天候で回復する見込み （東臼杵地区）活着期で平年並。4月上旬の強風による葉痛みにより生育はやや遅れる可能性があるが、今後天候 で回復する見込み 分けつ期で平年より3日遅い進度。草丈は低く、茎数は少ない状況 （JA宮崎経済通ホームページ「宮崎県早期米産地情報」6月3日付）</p>	<p>・6月の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予想 （宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月30日公表）</p>
鹿児島		<p>・6月の早期水稲のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は平年並の予報 （鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）</p>

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考				収穫量（主食用） 25年産	作況指数 25年産
		生産数量目標			増減率		
		平成26年産	前年産との比較	増減率			
全 国	夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。			▲	9%		
北 海 道	・北海道地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温は平年並みか低く、降水量はほぼ平年並みの見込み。日照時間は、オホーツク海側は平年並みか少なく、日本海側では平年並みか多い、太平洋側ではほぼ平年並みの見込み。 （札幌管区気象台 6月12日発表）	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105	
青 森	・東北地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温はほぼ平年並みの見込み。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。（仙台管区気象台 6月12日発表）	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月12日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102	
宮 城	・同上（仙台管区気象台 6月12日発表） ・5月15日現在、農業用水主要ダム17カ所の平均貯水率は92.1%で平年を上回っている（宮城県農林水産部 5月16日付）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104	
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月12日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100	
山 形	同上（仙台管区気象台 6月12日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102	
福 島	同上（仙台管区気象台 6月12日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104	
茨 城	・関東甲信地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温は、1週目は高く2週目は平年並みか低い見込み。降水量、日照時間はともに平年並みの見込み。（気象庁 6月12日発表） ・那珂川流域では4月に入ってから雨が少なく、川の流量が減少して基準流量を下回っていたが、梅雨入りによる降雨により河川流量が改善されていることから、常陸河川国庫事務所は、平成26年6月9日13時00分をもって那珂川渇水対策支那を解除（国土交通省関東地方整備局 6月9日付）	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104	
栃 木	同上（気象庁 6月12日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102	
埼 玉	同上（気象庁 6月12日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98	
千 葉	同上（気象庁 6月12日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104	
新 潟	・北陸地方の6月14日～7月13日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。平均気温はほぼ平年並みで、降水量は平年並みか少なく、日照時間は平年並みか多い見込み。（新潟地方気象台 6月12日発表）	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103	
富 山	同上（新潟地方気象台 6月12日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102	
石 川	同上（新潟地方気象台 6月12日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101	
福 井	同上（新潟地方気象台 6月12日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102	
長 野	・関東甲信地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温は、1週目は高く2週目は平年並みか低い見込み。降水量、日照時間はともに平年並みの見込み。（気象庁 6月12日発表）	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101	

	気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	t	%	t	t	
滋賀	・近畿地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温は、1週目は平年より高く、2週目は平年並か低い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月12日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月12日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
岡山	・中国地方の6月14日～7月13日の1か月間の平均気温、降水量、日照時間はほぼ平年並みの見込み。平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み （広島地方気象台 6月12日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
広島	同上（広島地方気象台 6月12日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月14日～7月13日の1か月の気温は、平年並か低い見込み。 降水量、日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （福岡管区気象台 6月12日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
愛媛	・四国地方の6月14日～7月13日の1か月間の気温はほぼ平年並み、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込み。 （高松地方気象台 6月12日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
高知	同上（高松地方気象台 6月12日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月14日～7月13日の1か月の気温は、平年並か低い見込み。 降水量、日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （福岡管区気象台 6月12日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
熊本	同上（福岡管区気象台 6月12日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
宮崎	・九州南部地方の6月14日～7月13日の1か月の気温は平年並みか低い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月12日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月12日発表）	111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

平成26年度米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成25年度水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月6日)、農作物生育状況 6月1日現在(空知総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(石狩農業改良普及センター 6月1日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(後志総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(胆振総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(日高総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(檜山総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(上川総合振興局 6月6日)、農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(留萌総合振興局 6月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月6日)、
病害虫発生予察情報第5号6月予報(北海道病害虫防除所)、
田植進捗状況 6月5日現在(青森県 6月6日)、平成26年度病害虫発生予報第3号6月予報(青森県病害虫防除所)、
平成26年度水稲生育定期調査結果No.1-1(6月5日)(岩手県農業研究センター 6月9日)、平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(岩手県病害虫防除所)、
平成26年度病害虫防除速報No.3 水稲編-1(岩手県病害虫防除所)、
平成26年度水稲の生育状況について 6月10日現在(宮城県農林水産部 6月11日)、平成26年度産産稲作技術情報第3号(大崎農業改良普及センター 6月2日)、
平成26年度美里地区の稲作情報(美里農業改良普及センター 6月4日)、登米地域の稲作通信第2号(登米農業改良普及センター 6月4日)、
稲作情報Vol.1(石巻農業改良普及センター 6月4日)、稲作情報Vol.1(本吉農業改良普及センター 6月4日)、
平成26年度発生予察情報発生予報第4号(概要版)(宮城県病害虫防除所)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/>)、
米づくり技術情報No2(山形の米日本一推進運動本部 6月10日)、おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁 6月11日)、
平成26年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所)、
主要な農作物の生育状況平成26年度第3号(福島県農林水産部 6月9日)、水稲の病害虫防除対策(6月)(福島県病害虫防除所)、
農研速報(水稲の生育状況)(5月20日現在 水戸市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日)、
農研速報(水稲の生育状況)(5月29日現在 龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 5月30日)、
病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会、那珂川湯水対策支部の解散について(国土交通省関東地方整備局)、
平成26年度水稲生育診断調査事業速報No.1(早期栽培5月26日調査結果)(栃木県農政部 5月29日)、
平成26年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター)、
平成26年度水稲の生育概況Vol.1(平成26年6月1日現在)(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 6月9日)、
病害虫防除情報(埼玉県病害虫防除所 6月11日)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 6月3日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター)、
水稲の生育状況と今後の管理対策第2号(新潟県農林水産部 6月11日)、6/10稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター他)、
岩船米づくり情報号外(村上農業普及指導センター 6月)、新発田地域水稲育成速報No.2(6月10日調査)(新発田農業普及指導センター 6月10日)、
水稲生育速報・コシヒカリ(6月10日)(上越農業普及指導センター)、稲作緊急情報(6月10日現在)(長岡農業普及指導センター 6月10日)、
管内の生育状況(5月29日現在)(魚沼農業普及指導センター 5月30日)、稲作管理情報2(柏崎農業普及指導センター 6月11日)、
平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予報)(新潟県病害虫防除所)、
TACS情報第2号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月3日)、
平成26年度水稲の生育状況と今後の対策(石川県農林総合研究センター 6月9日調査)、病害虫発生予報第2号(石川県)、
稲作情報No.5(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月6日)、平成26年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場)、
平成26年度作物技術普及情報第9号(長野県松本農業改良普及センター)、5月下旬の水稲巡回調査結果の概要について(長野県病害虫防除所 6月2日)、
平成26年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月5日)、
平成26年度病害虫発生予報第4号(滋賀県)、
平成26年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月2日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(岡山県)、
農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所)、
今月の天候と農作業5月(愛媛県)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県)、
平成26年度病害虫発生予報5月月報(高知県病害虫防除所 6月3日)、平成26年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所)、
ネットラップ及び予察灯における海外飛来性害虫の誘殺状況(5月23日)(福岡県病害虫防除所)、普及指導センター情報(福岡県朝倉普及指導センター)、
管内JAニュース(JAグループ熊本ホームページ<http://www.ja-kumamoto.or.jp/>)、平成26年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所)、
平成26年度宮崎県早期米産地情報(平成26年5月29日現在)(宮崎経済連ホームページ<http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html>)、
平成26年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(6月)(鹿児島県病害虫防除所)

エルニーニョ監視速報(No.261)(気象庁 地球環境・海洋部)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)